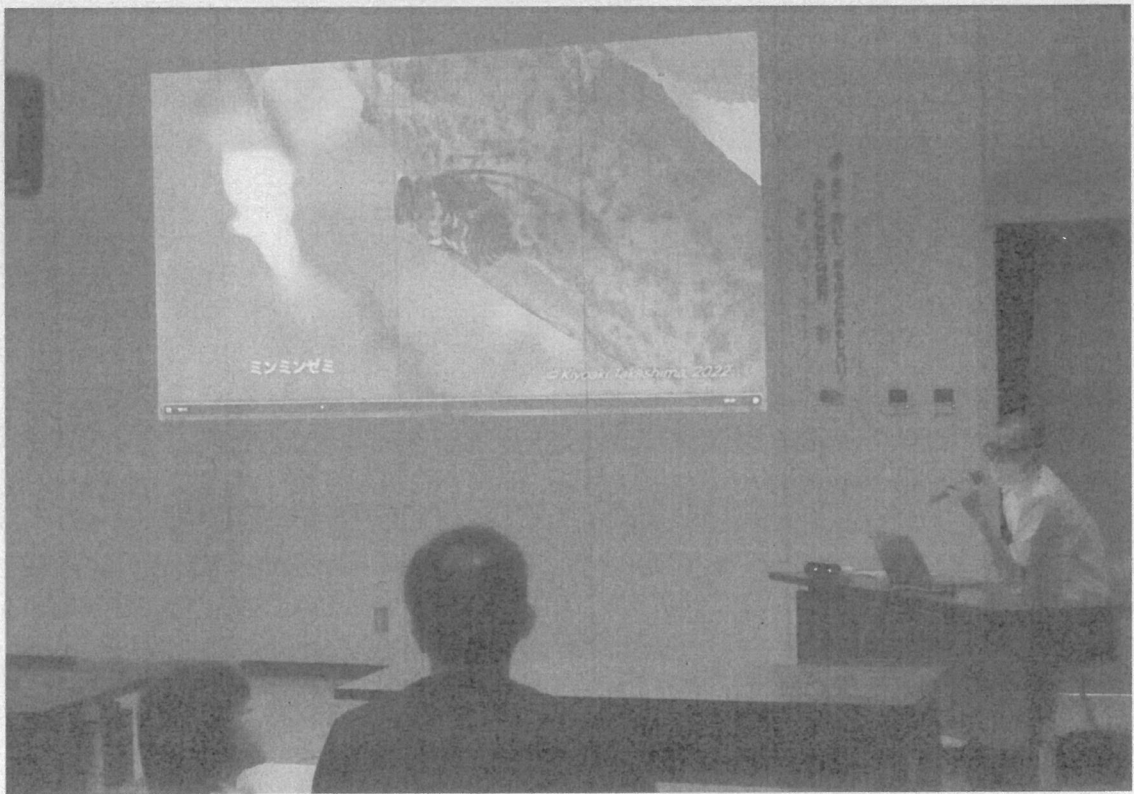


令和5年度

鶴岡市立図書館 要覧  
鶴岡市郷土資料館



小学生のための図書館講座 虫編

## 鶴岡市立図書館の沿革

- 大正 4年 11月 鶴岡公園に建てられた「大宝館」(大正天皇の御即位を記念したもの)内に鶴岡町立図書館が設置される。  
前身は、明治44年開設の私立鶴岡図書館である。
- 14年 10月 「大宝館」北側に独立官舎を建設移転する。
- 昭和 3年 1月 館外貸出制度を始める。
- 9年 4月 「大宝館」事業の一環として行なわれていた図書館経営が分離独立する。
- 20年 8月 第2次世界大戦が悪化。夜間開館を中止し、蔵書約2,000冊を東田川郡大泉村(旧朝日村)上田沢の民家10戸に分散疎開する。  
同月終戦となり9月26日返還される。
- 24年 8月 全蔵書を日本十進分類法により整理し、蔵書目録を刊行する。
- 25年 4月 図書館法制定。鶴岡市立図書館設置条例が施行される。
- 26年～28年 図書館事業は隆盛を極めた。(日本文学・郷土史等の講座、レコードコンサート、展示会、読書感想文募集など)
- 26年 11月 大宝館を全館使用することとなり再び移転する。
- 30年 4月 町村合併が行なわれ、巡回文庫が始まる。後の自動車文庫である。
- 45年 巡回文庫用の自動車を配置(県やまなみ号の払い下げ)する。
- 46年 4月 旧藤島町立図書館を開館する。
- 49年 5月 自動車文庫専用車としてマイクロバス型の新車を購入。  
車名を公募し、「やまびこ号」と命名する。
- 51年 6月 図書館に隣接する旧荘内神社社務所跡に「鶴岡市郷土資料館」を建設する。  
職員は兼務体制となる。
- 55年 9月 教育委員会内に「図書館建設審議会」が設置する。
- 59年 5月 新館の建設工事を着工する。
- 60年 3月 新館が竣工する。6月から1ヶ月間移転作業のため休館する。  
7月 23日新館が開館、創立70周年記念式典を挙げる。翌24日から開館する。
- 61年 3月 開館記念文化講演会―五木寛之氏「行間を読む」―を開催する。
- 61年 4月 旧櫛引町立図書館を開館する。
- 62年 9月 第7回山形県図書館研究大会を鶴岡市で開催する。
- 平成 2年 5月 自動車文庫「やまびこ号」を更新する。
- 3年 2月 図書館システムを導入する。
- 4年 4月 県立図書館とのオンライン業務を開始する。
- 7年 2月 郷土出身作家コーナーを設置する。  
11月 第15回山形県図書館研究大会を鶴岡市で開催する。席上、  
創立80周年記念講演会―渡部昇一氏「本・読書・ふるさと」を開催する。
- 8年 10月 図書館システムを更新する。利用者開放端末を設置する。
- 11年 4月 郷土資料館の展示機能を郷土資料室(図書館2階)に移し、公園内の資料館を休館とする。

- 13年 10月 図書館システムを更新し、図書館ホームページを公開する。  
図書館蔵書のネット検索が可能となり、Web予約もできるようになる。
- 15年 10月 第23回山形県図書館研究大会を鶴岡市で開催する。
- 17年 10月 鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町の1市4町1村の合併に伴い、新鶴岡市立図書館(本館と分館)が発足する。
- 18年 10月 図書館システムを更新するとともに、全館の図書館システム導入計画を策定する。
- 19年 4月 朝日分館において図書館システムを稼働する。
- 20年 1月 図書館2階の「郷土資料室」を「郷土資料館」に変更、図書館に併設となる。
- 20年 5月 藤島、羽黒、櫛引、温海各分館との図書館システムオンライン稼働する。
- 21年 3月 自動車文庫「やまびこ号」を更新し、土田義晴氏の原画をラッピングする。
- 22年 3月 自動車文庫「やまびこ号」に描かれている図書館のイメージキャラクターの名称を公募し、ライオンは「ヨンデール」オオカミは「リードン」とする。
- 23年 10月 第31回山形県図書館研究大会を鶴岡市で開催する。  
図書館開館100周年(平成27年)記念プレ事業として文化会館を会場に「谷川俊太郎朗読コンサートin鶴岡」を実行委員会形式で開催する。
- 25年 1月 「佐藤賢一が語る新徴組と幕末」を開催する。  
2月 図書館システムを更新する。期限票がレシートになる。
- 26年 7月 鶴岡市子ども読書活動推進委員会を設置する。
- 27年 4月 鶴岡市子ども読書活動推進計画を施行する。  
8月 開館100周年記念式典・記念講演、阿刀田高氏「周平もひさしも読書はみんなおもしろいぞ」他、企画展示6事業、講演会等10事業を開催する。
- 28年 9月 山形小説家・ライター講座第1回鶴岡出張講座を開催する。(以降毎年開催)  
[第1回 講師 三浦しをん氏、池上冬樹氏]
- 29年 1月 羽黒分館、新羽黒庁舎に併設移館する。  
3月 『鶴岡市立図書館100年史 鶴岡市立郷土資料館40年史』発刊する。  
『通史の中の庄内』(鶴岡市立図書館百周年記念歴史講演会講演録)を発刊する。
- 30年 2月 図書館システムを更新する。
- 31年 3月 第2次鶴岡市総合計画の第3章学びと交流に「市民の読書活動の奨励の推進」を明文化した。
- 令和 元年 7月 図書館イメージキャラクターを描いた新しいデザインの利用カードを制作し、希望する小学1年生児童への配布を開始する。(以降毎年実施)
- 2年 3月 第2次鶴岡市子ども読書活動推進計画を策定する。  
『鶴岡市郷土資料館史料集1 菅実秀関係史料集』を発刊する。  
12月 第2次鶴岡市子ども読書活動推進計画のパンフレットを作成する。
- 3年 7月 本といっしょ〜つるおかの読書の未来を考えよう〜インタビュー記事Web掲載。  
10月 第41回山形県図書館研究大会を鶴岡市主会場でリモートで開催する。
- 4年 図書館除菌器及びセルフ貸出機を導入する  
8月 図書館ナイトツアー(児童の図書館体験)の第一回を開催する。  
「子どもたちのための図書館講座」(県立図書館共催事業)を開催する。
- 5年 3月 『通史の中の庄内2』(酒井家庄内入部400周年記念歴史会講演会講演録)を発刊する。

## 施設の概要

### 本館

1 所在地	鶴岡市家中新町14番7号
2 敷地面積	3,841.04㎡
3 延床面積	2,180.70㎡ (1階 1,210.36㎡、2階 970.34㎡)
4 構造	鉄筋コンクリート造2階建
5 工期	着工、昭和59年6月1日 竣工、昭和60年3月25日
6 開館年月日	大正4年11月10日 (現本館開館 昭和60年7月24日)
7 工事費	5億3千万円 (昭和59年度公立社会教育施設整備費補助金 82,000,000円) (2,126.929㎡ 対象事業費 464,760,985円)
8 駐車場	56台
9 図書収容能力	278,000冊 (内 開架 75,000冊)
10 開館時間	平日：9時30分～19時 (12月～2月は18時) 土・日・祝日：9時30分～17時
11 休館日	月曜日 (祝日の場合は火曜日)、年末年始 (12月29日～1月3日) 特別図書整理期間、年度末統計処理日

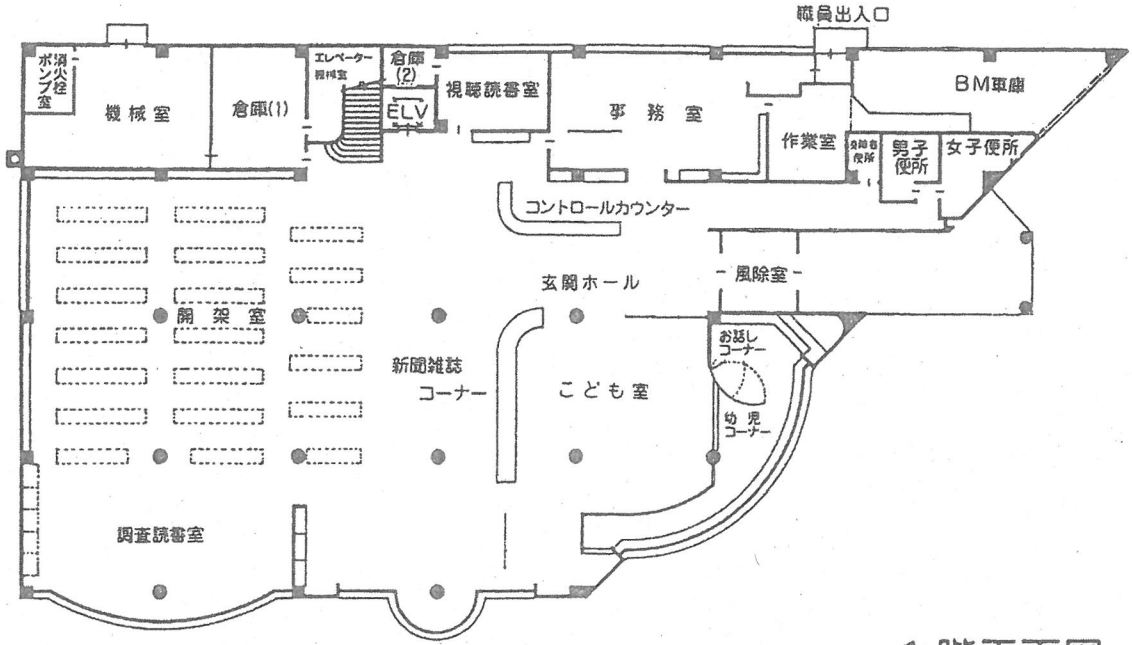
### 【 1 階 】

- コントロールカウンター 利用カードの交付や館内の案内、貸出返却、予約、コピー、読書相談、レファレンス (参考相談) などを行います。
- 一般開架室 貸出用の一般図書が置かれており、自由に選ぶことができます。
- 調査読書室 40人席で、隣接の開架室から自由に本を選んで調査、読書ができます。
- ブラウジング (軽読書) コーナー 新聞や雑誌を、くつろいだ雰囲気の中でゆっくりと楽しめます。
- こども室 ものがたり・絵本・紙芝居などがたくさん揃っており、ジュースが心地よい幼児コーナー、楽しい紙芝居や読み聞かせのできるおはなしコーナーもあります。

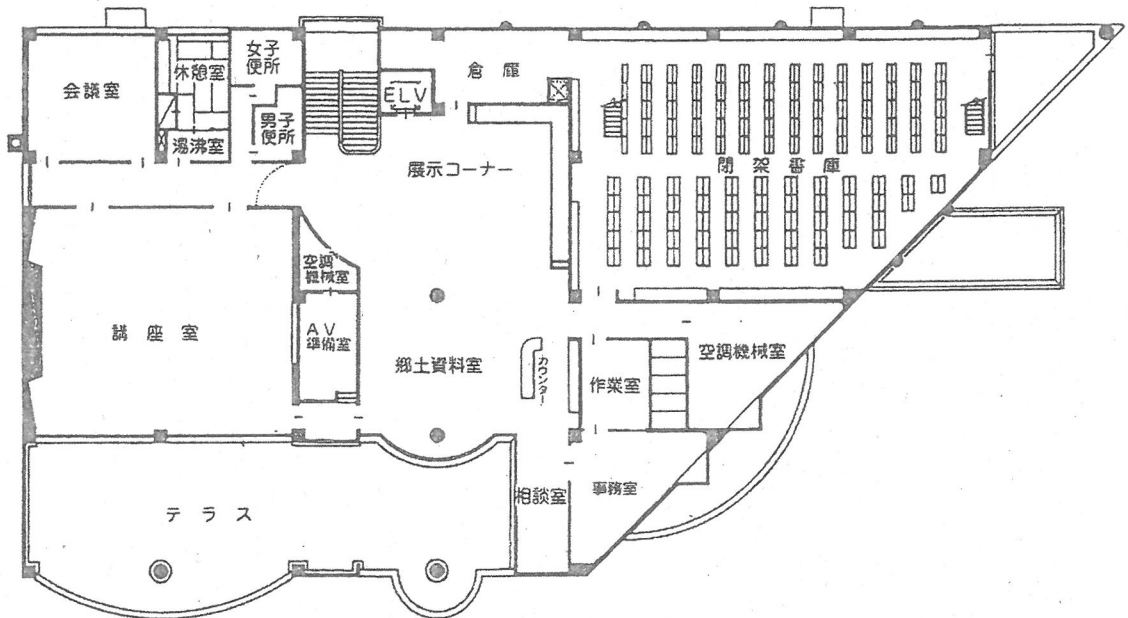
### 【 2 階 】

- 郷土資料館 当地方の史料 (古文書・絵図など) を調査収集するとともに、これに専門的な整理を施して保管し一般に公開します。  
また、館内閲覧用の郷土図書も揃っています。
- 展示コーナー 郷土の歴史を物語るいろいろな史料を常時展示しています。
- 講座室 80人席のスペースがあります。
- 閉架書庫 図書、雑誌、新聞と20万点以上の古文書などを収めています。

# 本館館内図



1階平面図



2階平面図

## 移動図書館

- |          |                          |
|----------|--------------------------|
| 1 形態     | 3トントラック改造型 移動図書館車「やまびこ号」 |
| 2 運行開始   | 昭和49年5月                  |
| 3 更新     | 平成2年5月、平成21年3月           |
| 4 図書収容能力 | 3,000冊                   |

### 藤島分館

- 1 所在地 鶴岡市藤島字山ノ前99 (東田川文化記念館併設)
- 2 開館年月日 昭和46年4月 (現分館開館 平成8年6月)
- 3 図書収容能力 20,000冊
- 4 開館時間 9時～17時
- 5 休館日 月曜日、年末年始 (12月29日～1月3日)

### 羽黒分館

- 1 所在地 鶴岡市羽黒町字荒川字前田元89 (羽黒庁舎併設)
- 2 開館年月日 平成17年10月1日 (現分館開館 平成29年1月)
- 3 図書収容能力 16,000冊
- 4 開館時間 9時～18時 (土・日・祝日は9時～17時)
- 5 休館日 年末年始 (12月29日～1月3日)

### 櫛引分館

- 1 所在地 鶴岡市上山添字文栄60 (櫛引情報センター併設)
- 2 開館年月日 昭和61年4月
- 3 図書収容能力 20,000冊
- 4 開館時間 9時～18時 (土・日・祝日は9時～17時)
- 5 休館日 月曜日 (祝日の場合は火曜日)、年末年始 (12月29日～1月3日)

### 朝日分館

- 1 所在地 鶴岡市下名川字落合220 (朝日中央コミュニティセンター併設)
- 2 開館年月日 平成17年10月1日
- 3 図書収容能力 20,000冊
- 4 開館時間 9時～18時 (土・日・祝日は9時～17時)
- 5 休館日 月曜日 (祝日の場合は火曜日)、年末年始 (12月29日～1月3日)

### 温海分館

- 1 所在地 鶴岡市温海戊577-1 (温海ふれあいセンター併設)
- 2 開館年月日 平成17年10月1日
- 3 図書収容能力 10,000冊
- 4 開館時間 9時～17時
- 5 休館日 年末年始 (12月29日～1月3日)



## 事業予算の推移 (当初予算)

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
報酬	107	107	107
報償費	487	648	456
旅費	231	217	217
需用費	9,815	11,137	12,906
消耗品費	3,108	2,924	2,882
燃料費	1,395	1,693	1,998
食糧費	16	21	24
印刷製本費	993	1,659	801
光熱水費	3,805	4,049	6,168
修繕費	498	791	1,033
役務費	583	574	595
通信運搬費	537	537	537
手数料	46	37	58
委託料	6,901	6,739	6,596
使用料及び賃借料	6,374	6,901	3,592
工事請負費	15,200	3,000	21,400
備品購入費	16,000	15,200	15,200
負担金補助及び交付金	71	71	71
総額	55,769	44,594	61,140

## 図書館利用状況の推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
人口（令和5.3.31現在）		123,146 人	121,365 人	119,599 人
蔵書冊数（令和5.3.31現在）		403,566 冊	408,174 冊	408,403 冊
登録者総数（令和5.3.31現在）		39,606 人	41,144 人	42,553 人
新規登録者数		2,452 人	2,690 人	2,773 人
開館日数		269～323 日	299～357 日	300～357 日
移動図書館運行日数		140 日	144 日	147 日
入館者数		180,127 人	202,947 人	205,316 人
貸出利用数(団体含む)		89,448	102,200	100,892
館内	個人貸出	82,775 人	94,050 人	92,885 人
	団体貸出	1,093	1,285	1,257
移動図書館	個人貸出	5,190 人	6,427	6,315
	団体貸出	390	438	435
貸出利用冊数		402,093 冊	445,909 冊	436,926 冊
館内	個人貸出	358,359 冊	396,636 冊	389,761 冊
	団体貸出	18,388 冊	16,577 冊	16,039 冊
移動図書館	個人貸出	15,287 冊	20,225 冊	19,482 冊
	団体貸出	10,059 冊	12,471 冊	11,644 冊
(団体貸出計)		28,447 冊	29,048 冊	27,683 冊
1日当たりの入館者数		619 人	630 人	638 人
1日当たりの貸出利用人数(個人)				
館内(貸出利用人数/開館日数)		284.5 人	292.1 人	288.5 人
移動図書館(貸出利用人数/運行日数)		37.1 人	44.6 人	43.0 人
1日当たりの貸出利用冊数(個人)				
館内(貸出冊数/開館日数)		1,231.5 冊	1,363.0 冊	1,339.4 冊
移動図書館(貸出冊数/運行日数)		109.2 冊	140.5 冊	132.5 冊
1人1回当たりの貸出利用冊数(個人)				
館内(貸出冊数/利用人数)		4.3 冊	4.2 冊	4.2 冊
移動図書館(貸出冊数/利用人数)		2.9 冊	3.1 冊	3.1 冊
登録者の年間利用冊数 (貸出利用冊数(個人)/登録者総数)		9.4 冊	10.1 冊	9.6 冊
登録率(登録者総数/人口)		32.2 %	33.9 %	35.6 %
人口1人当たりの貸出冊数 (貸出利用冊数(団体・BM含む)/人口)		3.3 冊	3.7 冊	3.7 冊

※計算における開館日数は6館の平均日数を使用